

2013年 10月 No.10

自主防災の基本

防災だより

自助: 自らの[命・家族・資産]は自ら守る
共助: 自主防災は[B 自治会]が防災隊
近助: 防災は[近所の助け合い]が使命

「自助」に関する情報誌

発行者 B地区茅ヶ崎自治会 自主防災隊

東海地震の予知について

地震は、「いつ来るか分からない」から、「いつ来てもおかしくない」と言われますが、いつ、どこに、どれくらいの地震が来るかの予知は正確にはできません。

地震発生の際は、地震の予測される地域で科学的な観測が十分に行われ、**常時監視体制**が整っていることが欠かせません。そのような体制が整っていて予知のできる可能性があるのは、現在のところ

（場所）駿河湾付近からその沖合いを震源とする、（大きさ）マグニチュード8クラスのいわゆる「東海地震」だけです。それ以外の地震については直前に予知できるほど現在の科学技術が進んでいません。

常時監視体制

東海地震の前兆現象を捉えるため、東海地域及びその周辺に各種の観測機器が設置されています。

各機関が設置したものが（地震、地殻変動、地下水等）、気象庁にデータが集められ、常時監視しています。

東海地震は必ず予知できるか？

「必ず予知できる」ということは、ありません。

観測の状況によって東海地震に関連する情報がだされますので、必要な行動を取ってください。

東海地震に関連する情報は三種類あり、危険度が低い方から高い方へ、3段階あります。

1、東海地震に関連する調査情報（臨時）

観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかつ

た場合に発表されます。住民の方は、平常どおりお過ごし下さい。

2、東海地震注意情報

観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表されます。

ほぼ同時に、政府から防災に関する呼び掛けが行われます。これに合わせ、防災関係機関の中には、一部準備行動を開

するところもあります。学校や企業の中には、児童や職員の北区を行うところもありますので、住民のかたは政府からの呼び掛けや、予め自治体などが定める防災計画に従ってください。

3、東海地震予知情報

東海地震の発生のおそれがあると判断された場合に発表されます。

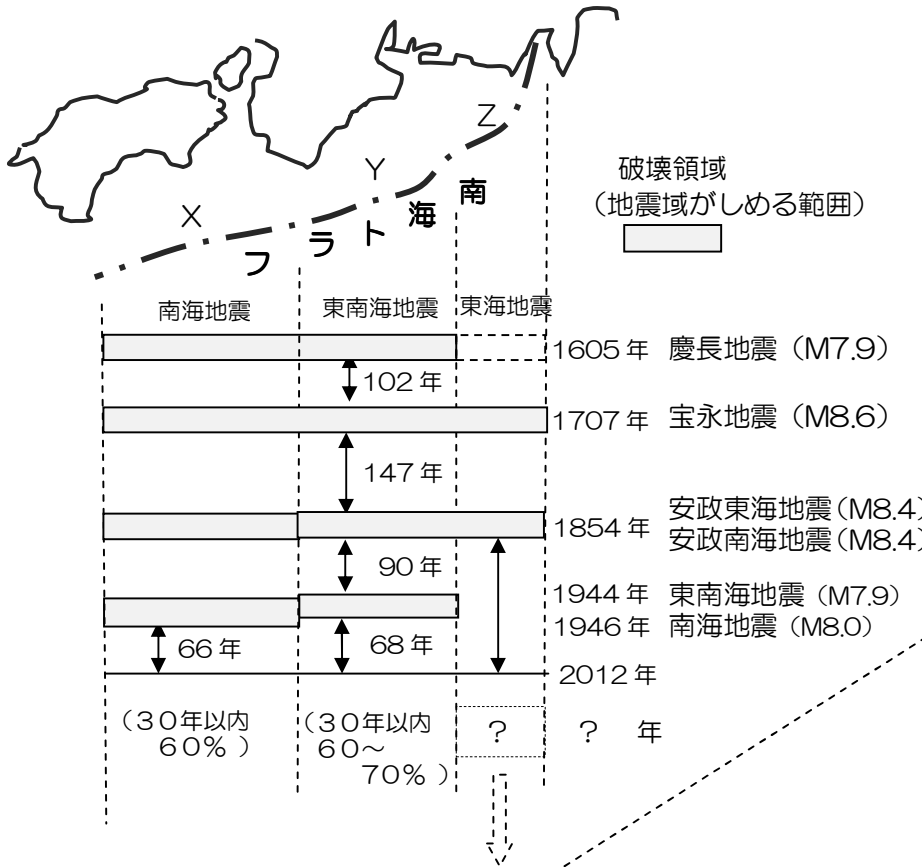
ほぼ同時に内閣総理大臣から警戒宣言が発表され、本格的な防災体制が敷か

れます。住民の方は、東海地震の発生に十分警戒し、予め自治体等が定める防災計画に従って行動して下さい。

情報元：神奈川県 防災・災害情報（インターネット）
<http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bousai/portal/1,87,9,9.html>
 「巨大地震は連鎖する」木村政昭著 角川学芸出版 内閣府 防災情報
 全国地震動予想地図（防災科学研究所）

★本誌に関する
 連絡・問い合わせ先★
 坂上（B-24-20）
 Tel/Fax 53-1351
qqyk5sq9k@ark.ocn.ne.jp

東海地震の切迫性について



東海地震
東海地震の想定震源域では概ね100~150年の間隔で大規模な地震が発生しているが、東南海地震(1944)でひずみが解放されず、安政東海地震(1854)から157年間大地震が発生していないため、相当なひずみが蓄積されていることから、いつ大地震が発生してもおかしくないとみられている。
東海地震は唯一直前予知(地震の前兆現象をとらえる)の可能性があります、予知された場合には事前避難・交通規制等の対策を講じる。

東南海・南海地震
おおむね100~150年の間隔で発生しており、今世紀前半での発生が懸念されており、関東から九州にかけての広域防災対策を早急に確立していく必要がある。

想定東海地震 (M8 クラス) 30年以内 確率 87% (3.11以降 88%) 茅ヶ崎市では震度6弱以上。
このため、地震防災対策強化地域として、県西部地域8市11町が指定されている。(茅ヶ崎市は指定されているが、藤沢市は指定されていない。)

3.11以前、宮城県沖地震の予想は M7.5 前後 30年以内 99%であった。福島県・茨城県沖の地震と連動することは予想していなかった。(全国地震動予測地図 防災科学研究所)

集会所に掲示しました

国は、東海・東南海・南海地域(南海トラフ)に想定される地震が、最も警戒が必要な災害の一つとしている。「国難という言葉を使っておりますがそのような災害が起ころうとしている。想定される地震はM9,1」(9/26 NHK スペシャルMEGAQUAKE III 南海トラフ見え始めた“予兆”)

震度階級ごとの体感と状況

震度階級	人体の体感	屋内・屋外などの状況
6弱	立っていることが困難になる	固定していない家具の大半が移動し、倒れることもある。壁のタイルや窓ガラスの破損、補強されていないブロック塀の倒壊に注意。
6強	立っていることができず、這わないと動くことができない。揺れに翻弄され、飛ばされることがある。	固定していない家具のほとんどが、移動し、と売れるものが多くなる。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する物が多い。
7		固定していない家具の中には、飛びものもある。TV やピアノが飛んだこともある。窓ガラスや壁のタイルの落下、補強されているブロック塀も倒壊する。